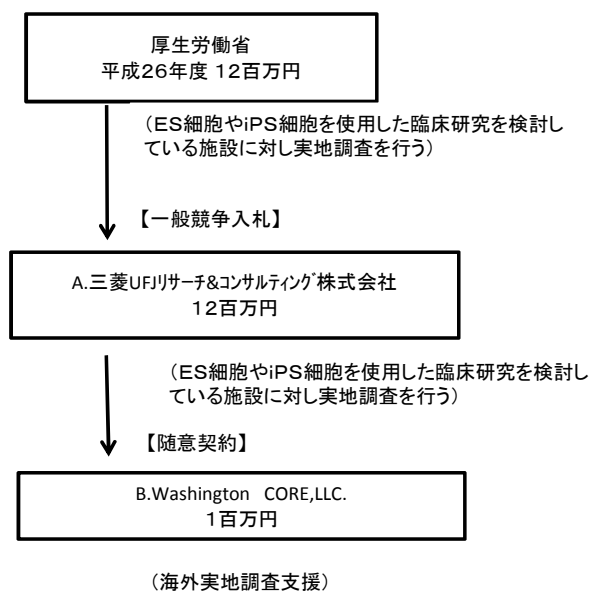


平成27年度行政事業レビューシート(厚生労働省)

事業名	ES細胞・iPS細胞臨床研究指針対策費			担当部局庁	医政局		作成責任者			
事業開始年度	平成21年度	事業終了 (予定) 年度	終了予定なし	担当課室	研究開発振興課		課長：神ノ田 昌博			
会計区分	一般会計			政策・施策名	I-8-1 革新的な医療技術の実用化を促進するとともに、医薬品産業等の振興を図ること					
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する計画、 通知等	日本再興戦略(平成25年6月14日閣議決定) 再生医療等の安全性の確保等に関する法律 (平成25年法律第85号)					
主要政策・施策				主要経費	その他の事項経費					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	再生医療等を実施する機関における研究の実施状況、海外における再生医療等に係る指針等の整備状況等について調査を行い、調査結果を再生医療推進のための企画・立案に役立てることを目的とする。									
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	再生医療等を実施する全国の大学医学部、研究機関等における研究の実施状況、海外における再生医療等に係る指針等の整備状況等について委託調査を行う。									
実施方法	委託・請負									
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求			
	予算 の 状 況	当初予算	14	14	14	9				
		補正予算	-	-	-	-				
		前年度から繰越し	-	-	-	-				
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-				
		予備費等	-	-	-	-				
	計		14	14	14	9	0			
	執行額		14	14	12					
執行率(%)		100%	100%	86%						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標			単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27 年度
	平成27年度に、国内外の再生医療研究等を実施する医療機関及び関連機関の情報等を80機関把握する		実態を把握した機関等の件数		成果実績	件	81	108	79	
					目標値	件	50	80	100	80
					達成度	%	162%	135%	79%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込		
	インタビューの実施又は調査票の送付等を行った機関等の件数		活動実績	件	139	130	100			
			当初見込み	件	139	130	100	80		
単位当たり コスト	算出根拠			単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込		
	X / Y		単位当たり コスト	円	167,222	125,417	149,367	91,000		
	X:「執行額」 Y:「実態を把握した機関数」		計算式	X/Y	13,545,000/81	13,545,000/108	11,880,000/79	9,100,000/100		
平成27・28年度予算内訳 (単位:百万円)	費 目		27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由					
	医薬品等試験調査委託費		9							
計		9	0							

事業所管部局による点検・改善						
		項 目	評 価	評価に関する説明		
国費投入の 必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	再生医療は迅速な実用化が求められており、国が主体的に取り組むよう求められており、国費を投入すべき。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	再生医療は迅速な実用化が求められており、国が主体的に取り組むよう求められており、民間に委ねることはできない。		
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	再生医療は迅速な実用化が求められており、国が主体的に取り組むよう求められていることから優先度が高い。		
事業の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	総合評価入札で選定しており、妥当。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	最小限の費用で効果的な成果を見出した。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	事業内容を達成するため、必要な経費のみの計上と考える。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	総合評価入札での価格競争による入札差金が生じたものであり、妥当と考える。		
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		○	必要のない作業を行わないよう、事業者とは定期的に打ち合わせを行っている。		
事業の 有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		△	当初の見込みを下回ったが、検証するために必要な情報は収集できた。		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	国が主体的に取り組むことにより、再生医療の迅速な実用化を図ることができるため、効果的な手法である。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	見込み通り事業を実施できた。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	実態把握できた機関等は前年度より少なかったが、十分な情報を得られたので、再生医療の迅速な実用化に向けた政策決定に活用できた。		
関連 事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		○	類似事業では、ヒト幹細胞の情報データベースの構築、再生医療実用化研究実施拠点の整備、細胞培養加工施設の許可に係る調査、法律に基づき厚生労働省に提出された再生医療等の提供計画等の台帳管理及び検証等を実施しており、本事業とは役割が異なるため、適切な役割分担となっている。		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名			
	厚生労働省医政局		ヒト幹細胞情報化推進事業 再生医療実用化研究実施拠点整備事業			
	厚生労働省医政局		再生医療促進事業費			
点検・ 改善 結果	点検結果	平成26年度は前年度に比べて実態を把握した機関等の件数が減少しているが、再生医療は成長分野で研究情勢の変化が速く、また、未知な部分も多い。 そのため、必要に応じ調査項目を変更したり、よりよい調査とするため、今後とも適切な予算措置をしていきたい。				
	改善の 方向性	平成27年度概算要求においては、再生医療等の安全性の確保等に関する法律の施行に伴い、従来の調査項目から新法の枠組みに沿った調査項目へ変更するなど、効率化できる経費について見直しを図っていきたい。				
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	240	平成23年度	214	平成24年度	181	
平成25年度	208	平成26年度	221			

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」)
 においてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

[illegible]

	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社	ES細胞・iPS細胞を用いた臨床研究実施計画についての審査業務	12	1	86%

B

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	Washington CORE,LLC.	海外実地調査支援	1	随意契約	